

2月20日(月)

忍 耐 強 く 待 つ

聖書朗読 ヤコブ 5 : 7 ~ 12

あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主の来られるのが近いからです。 ヤコブ 5 : 8

この世で本当に忍耐強い人というのは、そういるものではないと思われます。子どもであれば、ゲームやキャンディ、おもちゃのことで我慢ができなかったり、中高生ぐらいであれば、学校や人間関係で、そして大人であれば、仕事、家庭、あるいは交通渋滞などでも忍耐できなかったり、さらに、クリスチャンとしても、主のタイミングを忍耐強く待ちきれないということがあるのではないのでしょうか。

ヤコブは私たちに、主が再び来られるまでの間、忍耐強くあるようにと教えています。つまり、一生耐え忍びなさいということです。ヤコブは、預言者たちが、自分たちのメッセージが受け入れられなかった時でも揺るがずにいたことに触れ、苦しみの中にあっても耐え忍んだ者の例として、ヨブの名を挙げています。さらには、主がいかに忍耐強い方でおられたかという事を私たちに示しています。

私たちは、仕事や社会的な場や家庭において、あるいは、余暇を過ごす時でさえ、耐え忍ばなければならないことがあるでしょう。けれども、ここでヤコブが私たちに勧めている真の忍耐とは、主が再び来られるまでの間、主のために耐え忍ぶことなのだと思います。私たちのなすべきこと、それは、主のタイミングは私たちの考えより遥かに素晴らしいということと、憐れみとご慈愛に溢れて再びやって来られるのだということを信じて忍耐を持って待つことでしょう。

讃美歌 285

祈り 主よ。あなた様に信頼し忍耐強く待つことができるよう助けてください。あなた様の御名のために喜びをもって耐え忍ぶことができますように。あなた様が再び来られるまでの間、あなた様の憐れみと慈しみを思い出させてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カレブ・ディリンジャー

ペンシルバニア州 ピッツバーグ

今日の方

2017年2月20日～2月26日

翻訳 藤岡伸子

鈴木慈久

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月21日 (火)

渴 望

聖書朗読 I ペテロ 2 : 1 ~ 8

主よ。あなたのことばは、とこしえから、天において定まっています。あなたの
真実は代々に至ります。 詩篇 119 : 89 ~ 90

私はこどもの頃、大人というのは妙なものを時々食べるものだなと思ったもの
です。父が、ピクルスや、レバーと玉ねぎ、ザワークラウト、さらに、これは最悪
ですが、砂肝といったものまで食べるのを見ているだけでも嫌だと思ったものです。
いずれにしても、父の味覚が優れていたとは思えませんが、実は今私もそのような
妙な物を食べるものとなったようです。子どもたちに言わせると、私のお皿には「妙
な食べ物」が載っているそうです。

美味しい食べ物に対する私たちの味覚は徐々に発達していくものだと思います。
必要と思われる物あるいは美味しいと思われる食べ物を直観的に見分けるものでは
ないでしょう。ペテロは、命を養うのに悪いものは捨て去り、『純粋なみことばの乳
を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。』(I ペテロ 2 :
2) と私たちに勧めています。つまり、キリストの似姿を目指して成長したいなら
(これは生涯かけてのプロセスですが)、私たちは、良いもの、真に必要なものに対
する感覚を養う必要があるのです。

ペテロは、聖書に『人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るす
べてのもので生きる。』(申命8 : 3) とあるように、みことばの大切さを多く語っ
ています。神の口から出るみことばは、すべて良いものです。なすやキャベツと同
じように、それを味わい、その価値を理解するには、時間がかかるかもしれません。
けれども、それは皆さんにとって素晴らしいものであることをきつと確信できるは
ずです。これこそが、真の大人が味わうべきものなのだと思います。

讃美歌 187

祈り 父よ。私たちの味覚を変えて、永遠につながる真に必要な物を味わうこと
が出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイヴィッド・ポンズ
テキサス州 アマリヨ

2月22日 (水)

普遍的な敬意

聖書朗読 I ペテロ 2 : 11 ~ 17

すべての人を敬いなさい。

I ペテロ 2 : 17

1980年代の後半、エイズがピークであった頃に、私は病院のチャプレンの
施設で働き始めました。そこでの働きのためのトレーニングの中で、「普遍的な予防
措置」と呼ばれるものがあり、これは、当時としては新しいコンセプトでした。簡
単に言うと、ある患者に感染症の恐れがあるとするそれまでの診断から、患者であ
れば誰でも、周囲に広がる恐れのある感染症に罹患している可能性があること診るこ
とにシフトするものでした。そのため私たちは、患者と接触したら必ず手洗いをし
なければなりませんでしたが、この新たなコンセプトによって、患者は皆同等に扱
われるようになりました。

ヘルスケア分野における普遍的な予防措置とは、すべての人を守ることを目指
すものです。あらゆる人を公正に(普遍的な尊敬の念をもって)扱うというのは、
あらゆる人に恵みを施すということです。仕事上での地位、皮膚の色、あるいは人
種的な慣習がどのようなものであれ、他者に敬意を表す心を持つというのは、『神に
はえこひいきなどはない。』(ローマ2 : 11) ということを私たちに改めて教えて
くれるのだと思います。普遍的な尊敬の念とは、神のお考えです。あらゆるもの
の造り主であられるお方は、その造られたものを尊んでくださり、それらを「良し」
としてくださるのです。

自分が自分であることを理解してもらうことを嬉しく思わない人はいないでし
ょう。尊敬されることで、心や行動は変えられるものです。思いと行動において、
私たちがえこひいきすることなく、すべての人に公正に接することができますよう
に。

人を見下すこと、それは神への反抗である。

—————Moses Nahmanides

讃美歌 393

祈り 親愛なる主よ。あなた様を愛し、あなた様が受けるべき敬意をお示しま
す。私たちが会おうすべての人々に尊敬の念を表すとき、どうか私たちに
恵みをお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ロバート・P・ミュレン
テキサス州 ノースリッチランドヒルズ

2月23日 (木)

真の恵

聖書朗読 I ペテロ 5:12~14

ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。またキリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいます。
ローマ 5:1~2

ある晩、教会から車で帰る途中、娘が「月が私たちについて来る」と言ったので、かつては私にもそのように見えたものだと思いながら、思わず笑いました。しばらく車を走らせ左折したところで、月が見えなくなると、娘はそのことにとても腹を立てた様子でいました。するとそれまで黙っていた息子が彼女に、6歳の知恵で(まるで誰でも知っていることかのように)「エリー。月は道を曲がったりしないんだよ」と言ったのでした。

私も、物事のあり方について自分なりの「知恵」で判断していることで、神様をどれだけ笑わせていることかと思えます。

物事にはかつてのまま変わらないものもあります。恵みは私にとってそのようなものです。私は、神が「すべての恵みの神」であられ、私たちのうち最も罪深く、取るに足らない者にも寛大で、赦しを与え、惜しみない優しさを表してくださるお方であると教えられて育ちました。けれども、失望し落胆したときの鏡に映った自分の姿を見ると、神が今も恵みを与えてくださっているという考えが、こどもの単なる願いのように思えてくることがあります。

けれども、イエス様とともに歩みながら罪を犯したことを深く嘆いたペテロが記した『私はここに簡潔に書き送り、勧めをし、これが神の真の恵みであることをあかししました。』(I ペテロ 5:12)を読んだときに、私は、この幼子のような知恵は真理なのだということに改めて気付かされました。

讃美歌 294

祈り 恵み深きお父様。あなた様の恵みをしっかりと私たちが受け止めていないとき、どうかお赦しください。私たちの救いと清めの為のあなた様のおおいな御業を褒め称えます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイヴィッド・パウンズ
テキサス州 アマリヨ

2月24日 (金)

畏

聖書朗読 I ヨハネ 2:15~17

あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。
I コリント 10:13

ある晩散歩をしていたとき、近所の人がウッドチャックを捕らえようとして掘った穴があるのに気が付きました。その穴の中には、ウッドチャックをおびき寄せるためと思われる、大きくて艶やかで真っ赤なりんごが置かれていました。ウッドチャックがこのりんごに惹かれて穴に誘い込まれるように、私たちも自己中心的な思いや高慢によって、サタンに誘い込まれるものではないでしょうか。

けれども、たとえ私たちの様々な欲望によって、畏に嵌ってしまったとしても、神は、私たちが耐えられないところまで誘い込まれることがないよう助けてくださるという確信が私たちにはあります。自らを喜ばせたいとする私たちの思いによって、罪に陥ることがあっても、畏に捕えられたとしても、神はその畏から逃れる道を備えてくださると約束しておられます。私たちはサタンに十分気を付けているのでしょうか。十分ではないかもしれません。私たちがどんなに挫けても、神はそばにいてくださるということ意識しているのでしょうか。今日から、罪に縛られることとなるような畏に気を付け、畏へと私たちが誘い込もうと欺くサタンの手口をお示しくださる神のみことばに信頼して行きましょう。もし、畏にはまり無力だと思えるような時があっても、神のお与えくださる逃れの道を見出していきましょう。神はそこにおられ、私たちが墮落から救い出し、私たちが神とともに歩む生き方をするのを待っておられるのです。

讃美歌 375

祈り 主なる私たちの神様。私たちの自己中心的な歩みをあなた様の道で覆ってください。私たちの目を開き、サタンが私たちが陥れようとするあらゆる策略に気付かせてください。あなた様が備えてくださった逃れの道に気付く知恵をお与えください。私たちが罪を犯してしまったときには、あなた様に立ち返り、赦しを乞い求めさせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェームズ・ダイシュ
ペンシルバニア州 カーリスル

2月25日（土）

あなたの抱く未来像は？

聖書朗読 黙示録 7：9～17

自分の着物を洗って、いのちの木の実を食べる権利を与えられ、門を通って都にはいれるようになる者は、幸いである。 黙示録 22：14

今日の予言に関する書物や映画には、人の未来について何かしてくれるような神などいないと思わせるものが多く、神とはただ神秘的で無力な存在でしかないように描かれています。そして世の終わりについては、人類は自らを救うすべを見出さなければ、滅び去るといったシナリオとなっています。

けれども、ヨハネの描く未来像は、こうしたシナリオとは全く違う素晴らしいもので、あらゆる国の多くの人々が、神とその子羊による救いを信じるようになるというシナリオです。また、既に死んでいてもこのように信じていた人々は、今は神と子羊とともに生きており、また、今生きているこのような人々は、主を称え、主の備えと主のご臨在に思いを向けて生きていくとしています。

ヨハネは、私たちの神が生きた神であり、死の神ではないこと、そして、その衣を小羊の血で洗って、白くされた者たちには未来があるということを知っていました。さらに、人は、救いに与ることができると神に信頼し、人間の知恵や力に頼って生きてはならないということも知っていました。

人による未来像はとても暗いものになりがちですが、イエス様は、ご自身を愛する者に、人とは異なる未来像を示してくださり励ましてくださいます。私たちは未来に向かって行くとき、自分の想像力や力に頼るべきではありません。神は私たちのためにすぐそばにおられます。

讃美歌 453

祈り 私たちの父よ。御座に座かれておられるあなた様が、子羊によって、焼けるような暑さから私たちを遠ざけられ、生ける水に導かれるという素晴らしい未来を思い描くことができるよう助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ロン・グズマン
テキサス州 サンアンゲロ

2月26日（日）

方向を定める

聖書朗読 ヨハネ 4：31～40

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

箴言 3：5～6

「可能な最初のタイミングでUターンしてください」。私は、心地よい声が何度かそういうのを聞きました。私はレンタカーに乗って、初めて来た町で道を探していました。車にはカーナビが搭載されていて、目的地の方向をその都度教えてくれたのです。

一度か二度、私はナビが間違っていることに気付きました。私は違う方向に曲がり、一度は正しい家を見つけても、ナビに従わず自分で選んだ道を行きました。私はカーナビよりも頭がいいと感じました。

しかし、その日そのあと、自分で道を選んで行くことと決めたことによって、私は大間違いをし、大幅に遅刻してとても恥ずかしい思いをしました。

世界で最も頭のよかった人はこう残しています。『みことばをさげすむ者は身を滅ぼし、命令を敬う者は報いを受ける。』（箴言 13：13）

イエス様にとって、神様の御心を行うことが、人生そのものでした。そして人々が、イエス様が自分たちの心をいかによく知っているか知った時、人々はどこでもイエス様が連れていかれるところについていきたいと思いました。

イエス様の進む方向はご自身の偉大な愛と優しさから来ています。イエス様はたしかに道を知っているのです。イエス様は私たちの幸せを願っています。Uターンしましょう！

讃美歌 第二編 198

祈り お父様。私が自分勝手な道を行きたがってしまうのをお赦してください。今日、私の心があなたに従うことに集中できるようにしてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

編集者 エミリー・V・レムリー